



広島東南ロータリークラブ
週報2020年8月31日（第2778回例会）

例会日 月曜日 ANAクラウンプラザホテル広島 TEL241-1111

事務所 リーガロイヤルホテル広島13階 TEL221-4894

会長 米川 晃 幹事 胡 定晃

8月ロータリーレート 1ドル=105円



本日の例会

スケジュール	会長時間
12:45 点 鐘 ロータリーソング「R-O-T-A-R-Y」 来客紹介 (親睦委員会)	○第1回米山功労者表彰 河野宏明会員
12:50 会長時間 (米川会長) 幹事報告 (胡幹事)	幹事報告
委員会報告 ・出席報告 (出席担当) ・その他 同好会報告 S.A.A.	○9月からの例会開催について
13:15 点 鐘	次回例会 (9月7日)
	例会時間 12:45~13:30 (受付は12:30まで) 「ロータリーの友に因んだ卓話」 雑誌担当リーダー 今井廣志会員

お知らせ

9月例会開催について

メールでも先にご案内しておりますが、9月は13時よりプログラムを再開して下記の日程で開催いたします。

例会開催日時

- ・9月 7日(月) 12:45~13:30 (例会時間45分)
 - ・9月14日(月) 18:30~20:30 (夜間例会)
 - ・9月21日(月) 休会(敬老の日)
 - ・9月28日(月) 12:45~13:30 (例会時間45分)
- 通常通り12:30までに受付をお済ませください。

※状況に応じて、例会取消の追加が行われることもあります。ご理解の程よろしくお願いたします。

~9月例会のメイクアップについて~
(週報にて対応)

例会欠席者へは郵送にて週報をお送りいたします。
週報の熟読をもってメイクアップといたします。

出席会員へのお願

- ・国歌、ロータリーソングは起立、演奏のみ
- ・食事以外ではマスクの着用
- ・入室時のアルコール消毒 (いずれも入口にご用意しています)

今後の予定

○新会員とともに初秋の歓迎会 (夜間例会)

と き 9月14日(月)

18:30~ 例会

19:00~ 懇親会

と ころ ANAクラウンプラザホテル広島
ルーフトップにて

(雨天の際は3Fオーキッド)

他クラブ例会変更

(12:00~12:30 各例会場にて受付)

9/ 8 (火) 広島西南RC

9/ 9 (水) 広島陵北RC

9/14 (月) 広島廿日市RC

9/16 (水) 広島陵北RC

9/23 (水) 広島東RC・陵北RC

9/24 (木) 広島西RC・広島安佐RC

9/30 (水) 広島陵北RC

9月7日 例会メニュー《100万ドル》

飲むサラダ

ビーフステーキどんぶり山椒の香り

ポテトサラダ

味噌汁 香の物

デザート コーヒー



国際ロータリー第2710地区
2020-21 ガバナー 脇 正典

「分け入っても分け入っても
青い山」これは種田山頭火の
代表作です。行乞行脚の旅に
出て、熊本から宮崎にぬける

深山の新緑の山道で読んだ句です。苦闘している自分自身の姿も表しています。「分け入っても分け入っても青い山」まさにロータリー道です。

さて、私は国際ロータリー第2710地区ガバナーに就任しました防府RCの脇正典です。どうぞよろしくお願ひ致します。防府ロータリークラブからは白石民造PG、南園義一PG元RI理事に次いで3人目のガバナーです。

2020年は、東京オリンピック・日本にロータリークラブが誕生して100年になるという記念すべき年でしたが、新型コロナウイルスの流行で多くの会合が中止となり、オリンピックも来年に延期となり、100周年の祝賀気分も少し薄れてしまいました。

2020-21年度の国際ロータリーの会長はドイツのホルガー・クナークさん(クナーク会長の写真)です。190cm近い長身ですので、恒例の会長との写真は大人と子供のようになりました(月報表紙写真)。

クナーク会長の今年度のテーマは、
"Rotary Opens Opportunities" 「ロータリーは機会の扉を開く」です。5つの中核的価値観(親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップ)を大事にしながら、様々な扉をオープンにして、柔軟に、また、多様性を求めてロータリーを活性化して欲しいということです。

クナーク会長は今年度の目標として、4つあげられています。1つは新しいクラブを作ること、2つ目は5年後のクラブを見据えて戦略を持つことです。3つ目は新会員を注意して選び会員を増加させることです。4つ目は、世界は今コロナ対策で手一杯ですが、ロータリー長年の念願である"END POLIO NOW"です。ポリオ根絶まであと一歩です。共に頑張りましょう。

今年度のガバナー方針は「不易流行～楽しくなくてはロータリーではない～」です。

コロナの影響で人々の生き方・社会の在り方が変わってきました。これを良い機会とポジティブに捉え、新しいロータリー活動に繋げていけたらと思います。

これを変えたらロータリーではない。不易の部分とは何でしょうか。色々ありますが、私が他の団体と一番異なると考える点は、**職業倫理を重視**することだと思います。今は誰でもロータリアンになっても良いという風潮ですが、自己の職業を重んじ、誰にも恥じない態度で社会に貢献する、自分を律するという点です。

来年のNHK大河ドラマの主人公は日本の近代実業界の父と言われる渋沢栄一です。『論語と算盤』という渋沢の本がありますが、算盤即ち経営戦略は必要ですが、論語(儒教)の精神である人として正しい生き方をするという2つを両立しなければならないということです。

儒教とロータリー精神は驚くほど似ています。共に人生訓・人生哲学です。四書五経の1つ易経に「積善余慶」という言葉があります。これは1908年シェルドンの提唱した「One(始めHe) Profits Most Who Serves Best」(最も良く奉仕する者、最も多く報われる)と同じだと思います。日本では天台宗の始祖最澄の言葉に「忘己利他」があります。これは1911年にコリンズが述べた「Service Above Self」(超我の奉仕)に当たります。

人類不変の徳目を追求することが道(みち・どう)です。柔道・剣道等の武道から茶道・華道まで各々の道を究めようと努力しています。正に高潔性による徳望を希求するロータリー道です。中核的価値観とも合致しています。

不易の2番目は「Nobles oblige」、高貴なる者の務めです。ロータリアンは少なくとも普通の方より恵まれた立場です。世界で良いことをしようというロータリー財団に寄付をし、有効に活用しましょう。ビル・ゲイツはポリオ根絶活動に対し、全世界のロータリアンの寄付総額の2倍を寄付

しています。桁違いの金持ちですが、相応の寄付をしています。地区としては、ロータリー財団に1人150ドル、米山奨学金に1人16,000円の寄付をお願いします。

3番目は親睦です。ポール・ハリス以来、親睦と奉仕はロータリーの根幹です。奉仕が強調されて、義務のようになると堅苦しくなります。今はコロナで難しいですが、ロータリアン同士、仲良く会食し、奉仕活動すれば楽しくなります。最近は何だかんだという言葉を聞かなくなりましたが、もう一度見直して下さい。特に新会員の居場所を作ってあげて下さい。

4番目は家庭教育の重要性です。最近は何でも外注化されていますが、教育基本法第10条に「父母その他の保護者は、子の教育について第1義的に責任を有する」とあります。愛情に裏打ちされた家庭があってこそその教育です。せめてロータリアンの家族はそうあって欲しいと思います。日本の将来は子ども達にかかっています。

次に流行です。1905年にポール・ハリスがロータリークラブを作った頃、交通機関は馬車と蒸気機関車でした。ハリスは「この世界は常に変遷する。われわれは変遷する世界と共に変遷する用意がなければならない」と述べています。変えては行かなくては存続できない。時代に取り残されてしまいます。

流行とは柔軟性を持つことです。その第1は多様性を認めるということです。各々のクラブが主体性を持って細則を決め、結果の責任を担うことです。例会のあり方、会員の多様性を認めることです。昨年5つでした公式訪問の合同例会、今年度はガバナー補佐さん各クラブ会長さんのご尽力で14になりました。

第2は少子高齢化への対応です。人口減は社会経済の活力を減じますが、ロータリアンにとって喫緊の課題は後継者問題です。先ずご子弟が結婚され、子どもが誕生し、企業を継いでくれることです。ロータリークラブで婚活パーティーをするのも一つの方法です。

第3は他団体との連携です。1992年社会奉仕に関するRI声明に「他の機関があり、それによって既に立派に行われている事業に乗り出すようなことはしてはならない」、「ロータリーの奉仕活

動はなるべく現存の機関に協力する形で行うことが望ましい」とあります。例えば、識字教育については日本ユネスコ協会連盟の世界寺子屋運動があります。1998年から30年間に世界44か国に532校の学校を設置し、計131万人の人が学びました。資金は書き損じはがきを収集し換金しています。ロータリーも協力いただければと思います。他にもJC・商工会議所青年部・国際ソロプチミスト・ライオンズクラブ等の活動も考えられます。協力すれば大きな事業ができます。

第4は会員増強です。特に欧米や日本等の先進国の会員は目に見えて減少しています。RIの危機感は相当なものです。このままではジリ貧になります。そのためには特に女性会員・若い人達に会員になってもらいましょう。世界のロータリー女性会員の割合は約24パーセントです。2710地区は約5パーセントしかありません。第一歩として、衛星クラブの設立が考えられます。

会員を増やすためには、ロータリークラブ・ロータリアンの魅力を高めることです。特にロータリアン個々の魅力です。ロータリーとは何ですかと言われたら、「私がロータリーです」と言えるように共に精進し、頑張りましょう。

皆様のご協力・ご支援をお願いしてガバナーとしてのご挨拶といたします。ありがとうございました。

参考文献

ポール・ハリス『ロータリーの理想と友愛』

米山梅吉 訳

ハロルドトーマス『ロータリーモザイク』

松本兼二郎 訳



報告：副幹事 尾立道泰

8月24日(月)13:20より、脇正典ガバナー、田中信治地区副代表幹事、白井孝司ガバナー補佐、中野徹ガバナー補佐幹事をお迎えして、フォーラムをANAクラウンプラザホテル「アカシア」で、理事役員、各委員会担当リーダー総勢30名の出席で開催されました。脇ガバナー、米川会長の挨拶から始まり、3つのテーマ「会員基盤強化について、新型コロナウイルスに対応するクラブ運営の在り方、ロータリー財団寄付について」に対応する各理事担当リーダーからの事業計画の説明、質疑応答を行い、入会年度3年未満の会員を代表して河野(洋)リーダー、見正リーダー、女性会員を代表して中脇リーダーから、クラブに入会しての感想をそれぞれ発表しました。最後に、脇正典ガバナーからの講評を頂き閉会いたしました。



「ロータリーの友」を読もう！



「特集・私がロータリーを続ける理由、そしてその魅力」

横書き P7～P11

＜例会＞自らの専門知識を惜しげもなく伝え、熱心に語り掛けてくれる姿を目の当たりにして仲間意識の強さを感じる。

岸本秀樹

＜ロータリー＞食事、お酒を酌み交わしながら何でも話し合えるような親しい仲間ができて、この仲間こそが自分を磨き人生を豊かにする源。先輩たちに対して安心感と信頼感を抱けて、居るだけで周囲を幸せにできるような人徳者になるための道場。＜ロータリーの魅力＞多くの人たちと知り合うことができ、考え方などを教えていただけ実際に顔を合わせられる。＜先輩の一言＞「人生、これからよ！あと何年、みんなとこんな楽しい会合ができるかな？」これからもロータリーライフを楽しもうとされている言葉。特集をテーマ別でまとめました。私も以上の事を実感している一人で、今後もロータリーで成長させていただきたいと思っています。ただ今、出席できていませんがコロナ渦の終息の目途がたつまでお許し下さい。

17ページ、アットワークを読んで。

池田ロータリークラブさんでの取り組み、素晴らしいと思いました。

私共の地域でも小学校6年で税の事を学び、それを絵ハガキコンクールという形で夏休み中に募集し、表彰をしています。



角田由貴子



高島哲也

ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識について

「米山」とは日本ロータリーの父と呼ばれた米山梅吉氏のことで、1952年から東京ロータリークラブの古澤文作氏によって作られアジア諸国から優秀な学生を日本に招き、奨学を支援する米山基金の構想から始まり、1954年以降から在学留学生への支援に方針を変えて、全国の地区に拡大発展し時代とともに発展したロータリアンと外国人留学生との交流は国際親善と世界の平和に寄与する橋渡しとなる事業と改めて学びました。会員として、多様な文化や価値観の理解を広げるきっかけになれるよう少しでも学ぶことで貢献したいと思います。





2004年10月に私は山下会員と昨秋鬼籍に入られた中谷先生の推薦で入会しました。以来およそ16年、諸先輩はじめ皆さまのお陰で大変貴重な経験をさせていただきました。ロータリアンの「いろは」から教わり、姉妹クラブとの交流、同好会の活動、会員相互の様々な親睦等など、得がたい貴重な場楽しく関わられたこと、感謝の念に堪えません。

この度は仕事とプライベートの両面から退会の運びとなりました。仕事の都合でこれまで関西方面と頻りに往来してきましたが、昨年還暦を迎え体力的にもかなり厳しくなったので、この期に単身赴任のような形で居を大阪に移しました。大阪には九十路を迎えた両親がおりますが、介護保険のお世話にならずに暮せているものの寄る年波で相応の衰えが見られます。私は高校卒業後に大阪を離れ広島で40年余年暮らしてきましたが、こうした最晩年の親とともに過ごすのもよいかと思ひ至りました。

いずれにせよコロナ禍のあおりを受け例会でご挨拶することはできませんでしたが、この事態がなんとか平穏な収束を迎え、皆さまがますますご活躍されることを祈念しております。本当にありがとうございました。

広島市被爆75周年事業 「The 25th IPRAY 2020」

8/23(日)に広島市被爆75周年事業「The 25th IPRAY 2020」がアステールプラザ大ホールにて開催されました。IPRAY 25周年にあたる本公演で、被爆樹木写真のパネルを展示しました。



8月24日 累計300,000円（本例会27,000円）

ニコニコ箱

- 脇 正典ガバナー:国際ロータリー第2710地区ガバナーより例会出席に際して(10口)
- 古本由美:8月例会でたくさんのハンディキャップとメンバーに恵まれて優勝させていただきました。これからも精進して参りますので宜しく願いいたします。(3口)
- 中脇令子:お盆には素敵なお花を有難うございました。コロナ渦で静かなお盆でしたが、賑やかな仏前になりました。(1口)
- 渡邊直樹:妻の誕生日に綺麗なお花をいただきました。おかげさまでうっかり忘れずにすみませんでした。有難うございました。(1口)
- 宝迫信義:今日は妻の誕生日ということで、ピンクの胡蝶蘭が届いたとLINEの写真が送られてきました。有難うございました。(1口)
- 久保河内 豊:亡き妻に綺麗なお花を、お供えいただき有難うございました。(10口)
- 守下康弘:妻の誕生日に綺麗なお花を頂き、有難うございました。(1口)



8月ゴルフ同好会
古本由美会員 優勝

9月は「基本的教育と識字率向上月間・ロータリーの友月間」です

日付	例会・プログラム	クラブ行事他	委員会活動	同好会
1-				
	7/ 第2779回例会 「ロータリーの友に因んだ卓話」 雑誌担当リーダー 今井廣志会員	7/ 定例理事役員会	7/100万ドル食事	
10-				13/ ゴルフ
	14/ 第2780回例会 「新会員とともに初秋の 歓迎夜間例会」		14/ 新会員とともに初秋の 歓迎夜間例会	
		17/ 正副会長幹事会		
20-				
	21/ 休会 (敬老の日)			
	28/ 第2781回例会 「子供の居場所」 特定非営利活動法人 食べて語ろう会 中本 忠子様			
31-				